

## BEC ワールド(BECn)

### 広告収入回復見込みのほか、サイマル放送の「シングルコンテンツ・マルチ・プラットフォーム」化戦略が進展 タイ | 地方テレビ・ラジオ放送 | 業績フォロー

**フィリップ証券株式会社**

BLOOMBERG BEC:TB | REUTERS BECn.BK

- 2021/12期3Q（7-9月）は、売上高が前年同期比3.8%減、純利益が同2.4倍。主力の広告収入減により減収も粗利率が上昇、販管費が低下。
- タイでコロナ禍対応の行動規制が9月より緩和、11月より海外からの渡航規制も緩和されたことから、主力の広告収入回復が見込まれる。
- サイマル放送の「シングルコンテンツ・マルチ・プラットフォーム」化戦略が進展。動画配信「CH3Plusプレミアム」も好調に推移。

#### What is the news?

11/12発表の2021/12期3Q（7-9月）は、売上高が前年同期比3.8%減の12.72億THBだったが、純利益が同2.4倍の1.42億THBと減収増益。新型コロナウイルスのデルタ変異株感染拡大を受けて7月からバンコクなどで厳しい都市封鎖が実施されたことに伴うテレビ番組への規制が響き、主力の広告収入が減少した。一方で、再放送の活用を含むコスト削減により、総費用を同6.0%減の8.93億と抑制し、粗利率の同1.6ポイント上昇、売上高販管費率の同6.4ポイント低下により最終増益となった。前四半期比では、売上高が15.5%減、純利益が15.5%減と減収減益だった。

3Qの部門別売上高は以下の通り。①広告収入が前年同期比7.1%減の10.62億THB。②著作権・その他サービス収入が同23.8%増の2.09億THB。その内、グローバル・コンテンツ・ライセンス収入が同27.9%減の4,730万THBだったが、デジタル収入が同2.7倍の1.59億THBと伸長した。

#### How do we view this?

主力の広告収入について、タイにおいてコロナ禍に伴う行動規制が9月以降に段階的に緩和され、11月以降に日本を含む63の国と地域からの新柄コロナワクチン接種済み旅行者の隔離権益なしでの受け入れが開始されたことから、回復が見込まれる。

同社は「サイマル放送」（1つの放送局が同じ時間帯に同じ番組を、異なるチャンネル、放送方式、放送媒体で放送すること）の拡大を中心に「シングルコンテンツ・マルチ・プラットフォーム」化戦略を進めている。「チャンネル3」の人気ドラマを中国IT大手テンセントの動画配信サービス「WeTV」を通じてタイをはじめ多くの国に配信するほか、中国でテンセントが配信しているサイマル放送のドラマシリーズを同時にタイで閲覧できるようにした。また、タイの人気ドラマをベトナム最大の娯楽・テクノロジーメディア企業であるDatvietグループの動画配信プラットフォーム「Vieon」にサイマル放送を行っている。

更に、同社が今年になってサービスをリリースした「CH3Plusプレミアム」は登録アクティブ・ユーザー数が100万人を突破。サブスクリプション・ビデオ・オンデマンド（SVOD）としてコマースなしで10,000時間以上の連続コンテンツ、24時間のライブストリーミングおよび再放送プログラムを提供している。

#### 業績推移

※参考レート 1THB=3.39円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高(百万THB)	10,125	8,310	5,860	5,628	6,426
当期利益(百万THB)	-330	-397	-214	648	901
EPS(THB)	-0.17	-0.20	-0.11	0.32	0.45
PER(倍)	-	-	-	42.19	30.00
BPS(THB)	3.04	2.81	2.70	2.99	3.18
PBR(倍)	4.44	4.80	5.00	4.52	4.25
配当(THB)	0.00	0.00	0.00	0.21	0.28
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	1.58	2.07

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	0.21	(予想はBloomberg)
終値(THB)	13.50	2021/12/13

#### 会社概要

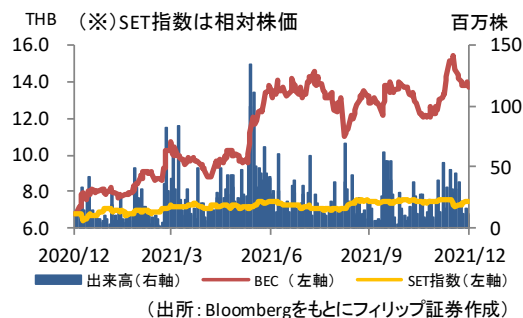
1967年設立のタイのメディアグループ。アナログ1局とデジタル3局の合計4つのテレビ放送チャンネルを有する「チャンネル3」を経営の柱として運営するほか、ラジオ放送「EasyFM」も運営する。アナログ放送はタイの政府系メディア企業であるMCOTから放映権を得ている。

現在は、地上波テレビとオンラインプラットフォームの両方で、様々なプラットフォームでコンテンツ提供ビジネスを運営する。コンテンツ提供ビジネスには、グローバル・コンテンツ・ライセンス・ビジネス、エンターテインメント、ドキュメンタリー・プログラムの調達・提供などが含まれる。

同社は近年、1つの放送局が同じ時間帯に同じ番組を異なる複数のチャンネル、放送方式、放送媒体を通じて放送する「サイマル放送」の拡大・普及に注力。同社の「チャンネル3」の人気ドラマの中国への配信、および中国で放映されるサイマル放送のドラマをチャンネル3で閲覧できる。

#### 企業データ(2021/12/13)

ベータ値	1.15
時価総額(百万THB)	27,000
企業価値=EV(百万THB)	26,023
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	296.6



#### 主要株主(2021/12)

1.Jurangkool Thaveechat	14.24
2.Maleenont Ratana	10.12
3.Maleenont Amphorn	7.49

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

#### リサーチ部

笹木 和弘  
+81 3 3666 6980  
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

**【レポートにおける免責・注意事項】**

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>